

政務活動費実績報告書

令和4年3月1日

久慈市議会議長 畑 中 勇 吉 様

会 派 名 政 風 会

代表者名 会長 小柳 正人



政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、次のとおり報告します。

使 途	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費
実施期間	令和4年1月12日（水）から14日（金）				
実施場所	福岡県みやま市、長崎県長崎市、長崎県大村市				
参加者名	政風会：小柳正人、小倉利之、佐々木栄幸、清水崇文、大沢俊光 日本共産党久慈市議団：城内仲悦、橋上洋子				
実績額	464,450円（政風会5名分）				
内 容	<p>久慈市議会会派「政風会」と「日本共産党久慈市議団」は、自然エネルギーを活用したエネルギー地産地消都市として、2015年にグッドデザイン金賞を獲得した福岡県みやま市と全国の子供たちに絵本を通して笑顔と夢を届け続けて35年の活動拠点となっている長崎県長崎市の「祈りの丘絵本美術館」及び同県大村市の図書館を活用した未来志向の子育て支援で成功を遂げている「ミライon図書館」の視察を行った。</p> <p>【令和4年2月12日（水）】 移動日 予定する航空機が欠航となり、東京から長崎まで新幹線にて移動した。</p> <p>【令和4年2月13日（木）】 視 察 先：福岡県みやま市 環境経済部 エネルギー政策課 視察内容 ○みやま市の概要 平成19年に3町（瀬高町・山川町・高田町）が合併し、令和3年3月の人口3,678人、議員定数16人、財政規模一般会計263億5千2百万円（令和2年決算）職員数は消防、公営企業含み合計377人、日本発、エネルギーの地産地消都市（グッドデザイン金賞）</p>				

進行：みやま市議会事務局参与 馬場洋輝

説明者：みやま市環境経済部エネルギー政策課係長 江崎幸太郎

○研修テーマ

久慈市の喫緊の課題は人口減少対策・少子高齢化である。一地方都市久慈市がこれからの地方創生をどのように捉え地域課題を解決していくのかが注目されている。

みやま市は自然環境に恵まれた温暖多雨な気候の田園都市であり、その地理的に恵まれた日照量と広大な平地を生かした、太陽光発電などの再生可能エネルギーを契機に、地球温暖化対策に取り組むと同時に地域課題を解決し、魅力発信と質の向上をさせる地方創生に取り組んでいる。

楽しく安全なまちづくりと、世代を超えた日本初エネルギー地産地消都市みやま市を視察し、久慈市が目指す久慈エネルギー株式会社を中心とした久慈市のエネルギー政策と地域課題解決・市民生活の向上が研修テーマである。

1) 地域新電力会社設立の趣旨・目的

みやま市と地元企業の出資により設立された、「みやまスマートエネルギー株式会社」は、地域が抱える課題を「公共エネルギーサービス供給」により解決しようとする官民連携共同企業であり、そのまま地方創生に向けた内容が盛り込まれていた。

太陽光発電などの再生可能エネルギーを地域の中で使い、地域内の経済を循環することで、人口減少や少子高齢化、定住促進などの地域課題を解決するための一役を担う社会を目指し活動していた。

また、電力事業で得た収益を地域に還元し、必要なサービスを提供することで、多くの方に共感していただき、利用の推進が図られ、接続可能な地域づくりに貢献していた。

2) 課題及び解決策

10年で人口は約5,000人減少、世帯数は約500世帯増加にも関わらず市職員数は20人の減となっていたことから、行政機能の維持が懸念された。

また、地球温暖化の影響で令和元年から令和3年まで豪雨災害に見舞われ床上浸水が頻発していた。

そこで、方針転換されたのが相反する環境と経済を対立させることなく、環境・経済・エネルギーの三立を図ることで、地域課題解決と地域の魅力・質の向上につなげることが地方自治体の役割と判断した。

3) 九州初のバイオマスセンターと旧小学校のリノベーション

閉校した小学校をリノベーションし、バイオマスセンター「ルフラン」を設立した。脱炭素社会に向けた地域新電力の拠点施設で、主な公共施設に係る温室効果ガス排出量の削減は、10年間で68%もの削減効果があり、国の目標値(-46%)を大きく上回る成果となった。

4) 大規模HEMS(ヘムス)情報基盤整備事業への参加

HEMSとはホーム・エネルギー・マネジメント・システムの頭文字で、

センサーやIT技術を活用して、住宅のエネルギー管理や省エネルギー管理をおこなっており、生活総合支援につながっている。



5) 市民との合意形成

ICPP (国連の研究組織) で、2021年環境問題におけるコメントとして、地球温暖化の原因は人間の活動が大きく影響していることは疑う余地がない。市民の中には、そんなのは嘘だと信じない市民もあり、再生可能エネルギーへの事業転換の障壁となっていた。

市では合意形成のための懇談を重ねる中で、少子高齢化、若者の定住、子育て支援、農林業の振興などの解決策なるということを説明し、予算も2010年から太陽光発電設備への助成を開始し、2019年からは蓄電池やパワコンの更新補助を追加した。



6) 「地産地消エネルギー」の地域活用と持続可能な地域社会づくりへの展開

個別の施策として高齢者見守りサービスやWEBを活用した宅配サービス、さくらテラスを活用した地域活性化、FIT及び屋根貸し事業などによる市民への見える化が功を奏し、現在は約15%の1,500世帯が加入している。他に、GoogleのEIEを活用し、温室効果ガス排出に関するシミュレーションを行い、都市における建物や交通に由来する温室効果ガス推定排出量、屋上太陽光発電を導入した場合の削減予測などを可視化していた。

また、Suncler (サンクル) の活用では、住所を入力するだけで、地域の日照データをもとに、ご自宅の屋根の形状や障害物等を分析し、太陽光発電設備を設置した場合の発電量や設置費用、発電収支予想などを無料でシミュレーションできるシステムも導入している。

しかし、地産地消エネルギーは土地に依存する事業にも関わらず、地域に利益が生じていないことから、各地で周辺住民とのトラブルが発生し、再エネを地域の裨益(経済循環)に結びつける仕組みが必要となったようである。

このことから、2015年2月に地域新電力「みやまスマートエネルギー(株)」を出資設立し、2016年4月電力の完全自由化がスタートし、本事業が本格化しました。

7) 地域力を高め行政課題に対応していくための政策課題

- ① 2014年からスタートし2019年度まで純資産はプラスであったが、2020年度(7期)はたった3日間で価格が高騰し、その影響で債務超過に陥り、現在もその影響を受けているとのことで、不安定な電力市場に頼らざるを得ないため逆ザヤとなり、新電力会社が倒産する自体となっている。
- ② 大手電力会社の攻勢として、公共施設その他の電圧施設の入札は予定価格の40~50%で入ってくるので民間の新電力事業者は太刀打ちできないという現状である。
- ③ 市内契約者(低圧系)は、現在10%、1,500件であり伸び悩んでいる。市がバックに控えているにも関わらず安定供給を求めているのが現実のようであった。

再生可能エネルギーを全面に押し出し、地球温暖化防止のための脱炭素社会に向けた地域新電力の役割を周知させるため、現在は小学生の環境教育の一環として授業の中に取り入れていた。

8) 脱炭素社会にむけて

脱炭素社会に向けて国でも指標を示すとおり「脱炭素社会への早道は地域新電力である」と明言している。キーとなるメッセージは、①今ある技術で取り組める、②再エネなど地域資源を最大限活用する、③地域課題の解決に貢献できるということである。

我が国では、限られた国土を堅く活用し面積あたりの太陽光発電を世界一まで拡大してきた実績がある一方で、コスト・敵地確保・環境共生などの課題も山積している。国をあげてこの課題を乗り越え、地方自治体・金融機関・中核企業等が主体的に参画した体制を構築し、地方支分部局が縦割りを排し、水平連携し機動的に今後5年間を集中期間として、支援実施を加速化することであり、久慈市でも地域人材の底上げ、デジタル技術、成功事例、ノウハウの見える化、資金支援など抜本的な見直しも合わせて行う必要があると考える。

9) バイオマスセンター「ルフラン」の建設

バイオマスセンターは廃校した小学校を活用し、カフェ・食品加工室・シェアオフィス・研修室などリノベーション施設として建設されていた。

当初は迷惑がられたし尿処理施設もカフェやシェアオフィスなどもあり、今ではシンボリックな施設として市民に親しまれ、公共施設のマネジメントという視点からも大きな意味があったようである。

2014年には、バイオマス産業都市として認定され、佐賀市、佐伯市とともに九州初選定され、2018年にはバイオマス施設が本格稼働している。

前述のとおり、公共施設の温室効果ガス排出量は市全体で2013年比-68%となっており、これは、紛れもなくバイオマスセンターにゴミ処理施設とし尿処理を取り入れたことが大きく影響し、維持費も安くなり雇用も生まれたということは、脱炭素と経済活動がうまく両立された地方創生の成功事例だといえる。



10) 考察

人口減少により、行政機能の維持が困難になる可能性のある等の地域課題の解決を目指すみやま市の地球温暖化対策は、地域の魅力と質を向上させる地方創生に貢献するものであるとの方針で、市出資のメガソーラー施設の整備（発電規模 5,000 キロワット）や、地域新電力「みやまスマートエネルギー株式会社」（日本初の地産地消都市として 2015 年にはグッドデザイン金賞）を設立した。

また、市内の生ゴミ、汚泥、し尿等をバイオマス資源として循環するためのバイオマスセンター「ルフラン」は、廃校を活用して整備され、市公共施設に係る温室効果ガス排出量の低減や発行後の液体を液肥（肥料）として、水稻、野菜等の栽培に利用し農業振興に役立てるなど、「しあわせつくる晴れのまち」みやま市の活性化に大いに貢献していると思われる。

これらの施策は人口減少問題を抱えつつ、将来カーボンニュートラルを目指す久慈市にとっては先進地事例として役立つ施策と考える。新電力に関しては独自の電源がなく、卸電力に頼らざるを得ず、昨年 1 月の頃の電力卸売価格高騰による損失が「みやま市」においては、2020 年度に約 2 億円の赤字であったとのこと、久慈市の「アマリンでんき」も同時期に約 6,000 万円ほどの損失を被ったと伺った。新電力の会社経営については「難問多し」と感じたところである。

みやま市では新電力との低電圧契約が約 1,500 件で市内世帯数約 10%程度であることも課題であるが、循環資源のまち、みやま市を目指し、意識を変え、行動を変えるために早期の教育が必要であるとのことから小学校から資源循環教育に力を入れている。

地域の再生可能エネルギーを地域内で使いそのことにより還流させたキャッシュフローを原資に新規雇用の創出が図られ、人口流出等の課題解決や地域の活性化につながるサービス・事業を展開している施策は大いに参考に

すべきと感じた。

また、特別研修事項として「ワンヘルスの推進」に関する決議の要旨について説明があり、令和元年末に発生した新型コロナウイルス感染症は、人獣共通感染症の一つで人と野生動物の生存領域が変化し、動物の感染症に対する抵抗力を保有しない人間に伝播することから「世界獣医師会と世界医師会によるワンヘルス国際会議」において、理念を実践する「福岡宣言」が採択され、みやま市で議決されており、ご時世の折、たいへん興味深い決議と受け止めたところである。

世界における人獣共通感染症は、密接に関連し合う一体のものとして捉え、「健康はひとつ」として継承していく「ワンヘルス」の理念のもと、福岡県議会に習い「ワンヘルスの推進」を久慈市議会として審議する機会を持ちたいものであると感じた。

【令和4年2月14日（金）】

視 察 先：長崎県長崎市 「祈りの丘絵本美術館」

視察内容

レトロな建造物で1981年にオープンした。国宝大浦天主堂やグラバー園が並ぶ坂道の途中にあり、庭が広くメルヘンチックで、1階が子供の本専門店、雑貨ショップ、童話館、2階が絵本や原画の展示館であった。同行した清水議員は「童話館ぶっくらぶ」会員であり、2階の有料展示館も拝観した。

全国の幼児の皆さんに良質の絵本を、毎月届けるために設立した絵本の専門館であり、子供と本の出会いを願いつつ、童話館グループの母体となった。当館の開館に伴い市中心部から童話館としてここに移転したものである。



子供の本離れが進み、質の良い絵本、子供の本の継続的な出版が難しくなっていく中で、童話館出版では絶版になった復版やオリジナルの新刊を出版しており、評価も高く出版点数も240点あまりを数える。

「童話館ぶっくらぶ」が発足以来、35年が経過したということで、全国の子供たちに絵本を通して笑顔と夢を届ける活動に感銘を受けた。

【令和4年2月14日（金）】

視 察 先：長崎県大村市 「ミライ on 図書館」、「歴史資料館」

対 応 者：大村市議会議員 村崎浩史様

大村市議会事務局議事調査グループ書記 法村俊弥様
ミライ on 図書館・大村図書館長 白石克己様
ミライ on 図書館・大村市図書館副館長 堀江史佳様
大村歴史資料館館長 今村明様

視察内容

ミライ on 図書館



長崎県と大村市が合同で、高知県に続く全国で2番目となる施設を整備しました。「ミライ on 図書館」と「歴史資料館」の概要は以下のとおりです。

- 開館は令和元年10月15日で常勤は30名（うち県職18名・市職12名、ほかにパート40から50名）
- 総事業費約76億円（うち図書館68億円、うち歴史資料館8億円）
建設財源（県は、公共施設等適性管理推進事業債・市は、社会資本整備総合交付金及び公共事業等債）
- 建築構造は、鉄骨造・地上6階、敷地面積16,217,85㎡、建築面積4,873,95㎡、駐車場205台駐輪場100台（原則無料）
- 図書等収蔵能力202万冊（開架25万冊、閉架177万冊）
- 1階の多目的ホール200名、子供室101席、2階研修室76名、学習スペース104席
- 3階資料閲覧室231席、4階資料閲覧室116席
- 大村市の中心市街地のまちづくりと時代ニーズに対応した新しい施設整備であり、市民の情報、文化センターとしての役割になっている。

元々県立図書館は長崎市にあったが老朽化や耐震問題、広大な敷地不足

等から改築を検討、大村市が誘致活動し共同運営などが合意され大村市に移転が図られた。更には、県下でも大村市は空港、新幹線基地、港湾レース等から人口が増加し県民からも生活環境、通勤要件、子育て政策等から



魅力ある都市としての評価や未来都市像が高評であるなどと、人口が増加しているのも県が県立図書館を大村市移転への決定打となったようである。他にも、新しい取り組みのサービス、多種多様な施策が生かされた近代的で県市一体型の相乗効果が発揮されている図書館であった。

同市は、単独の図書館と歴史資料館の建設を模索しており、県との共同建設と運営に手を挙げて着工に至る経緯となったとのことである。

運営における課題は①県と市職員の一体感の維持、②図書館運営に従事する人材の育成、③図書館サービス・事業の ICT 化、ソサエティー5.0、DX への対応、④施設空間やスペースの活用、⑤地域の魅力発信、認知度の向上、⑥豪雨、台風、コロナ対策などの危機管理等とのことである。



今後の取り組みは①共同研修、共同実施するイベント

等の実施、②ボランティアとの連携、支援の拡充、③電子図書館、電子書籍サービスの導入、④ギャラリー、芝生広場等の活用、⑤撮影場所として幅広く提供、SNS の活用、⑥県・市の意思決定の手順等のすり合わせである。

大村歴史資料館

市の歴史に関する資料を収集・保管、調査研究・展示、市民の利用に供することで、その教育、学術や文化の発展に寄与するため設置したとのことである。

運営の柱は、歴史を深く楽しくつたえることで、市民の主体的な



郷土学習を支援し、貴重な歴史遺産を後世に継承する資料館にすることである。

年間の利用者数は、当初は 60 万人を考えたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、最初の年は 30 万人程度になったとの説明があった。今は 1 日平均 1,000 人程度で 1 ヶ月 25 日の開館で、平均 2 万 5 千人/月程度である。

前述のとおり課題もあり、県との共同運営であり県職員と市職員の意識、与

えられた権限のズレがあげられる。例えば、災害時に市職員は自分の持ち場に待機しなければならないが、県職員には縛りがなく現場待機がないことから市が主体となり対応している。避難所として一時的に解放するが、非常品や食料などのストックヤードがないことが今後の検討課題あるとのことであった。

考 察

現在と過去のことを多く知ること、未来の自分のためにスイッチを「ON」にできる場所、それが「ミラ on 図書館」であり、出会いにあふれる楽しい図書館であった。202万部を超える所蔵も四国に抜かれたということではあるが、展示以外の所蔵庫も見学したが、規模の大きさに圧倒された。日本人ならばいつでも誰でも借りることができるシステムとのことであり、嬉しく感じた。

建物全体が開放的で、明るく広々としており、外構の芝生公園は自由に開放され、おおらかさを感じることができ、建物内からもよく見えて一体感も感じられ、休日には「芝生」と「太陽」と「自由」を満喫できる「未来の想像空間」として親子連れには大変人気が高いとのことであった。

建物の外観や内装が船をモチーフとしたデザインで楽しく、さらに、長崎県産杉材や石才が多く使用され温かみさえ感じることができるものであった。

なんとといっても、熱効率の良い建築構造と人感センサーをふんだんに駆使した設計で、エネルギー消費量63%の削減を図った近代的な建物であった。

政風会

(事務局参考資料)

月日	項目	単価	人数(数量)	金額	備考
1月12日	J Rバス東北(久慈~二戸)	1,570	5	✓ 7,850	
1月12日	J R新幹線(二戸~盛岡)	3,040	5	✓ 15,200	三河観光
1月12日	J R新幹線(盛岡~長崎)	31,400	5	✓ 157,000	共通
1月12日	宿泊(ホテルユニゾン博多)	8,405	5	✓ 42,025	三河観光
1月13日	タクシー	1,440	1	✓ 1,440	
1月13日	J R九州(瀬高~鳥栖)	570	5	✓ 2,850	共通
1月13日	J R九州(鳥栖~長崎)	3,382	5	✓ 16,910	
1月13日	宿泊(J R九州ホテル長崎)	11,150	5	✓ 55,750	三河観光
1月14日	長崎県営バス(長崎駅~大村市ミライオン)	815	5	✓ 4,075	
1月14日	航空機(長崎~羽田)	8,990	5	✓ 44,950	三河観光
1月14日	東京モノレール(羽田~東京)	660	5	✓ 3,300	共通
1月14日	J R新幹線(東京~二戸)	16,220	5	✓ 81,100	三河観光
1月14日	ジャンボタクシー(二戸~久慈)	22,000	1	✓ 22,000	三河観光
	取扱手数料(傷害保険料含む)	2000	5	✓ 10,000	三河観光
				0	
合計				464,450	

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

請 求 書

22年 1月10日

〒 028-8030
岩手県久慈市川崎町1-1

株式会社 三河交通観光

代表取締役 三河 博之

岩手県久慈市中央二丁目 13 番地
電 話 (0194)53-6161
F A X (0194)53-6163

久慈市市議会議員「政風会」

御中

前回御請求額	御入金額	繰越額	今回御利用額	今回御請求額
0	0	0	271,025	271,025

お振込口座

 岩手銀行 久慈支店 普 1050047
 みちのく銀行 久慈支店 普 6201121
 北日本銀行 久慈支店 普 2709972
 盛岡信用金庫 久慈支店 普 0157301

毎度ありがとうございます。上記の通り御請求申し上げます。

月 日	チケット番号	乗務員	御利用区間 / 摘要	金額	備 考
1月 4日	1/14	19	航空券 1/14	44,950	8990×5人 (10)
	1/12	19	新幹線(コト-変) 1/12立ち席	15,200	3040×5人 (2)
	1/14	19	東京駅 二戸駅 (1/14)	81,100	16220×5人 (12)
	1/12	19	ユニゾン博多, 1/12	42,025	8405×5人 (4)
	1/13	19	JR九州 H長崎1/13	55,750	11150×5人 (8)
		19	取り扱料 傷害保険料含	10,000	2000×5人 (14)
	1/14	19	二戸駅 久慈1/14	22,000	ジャンボタクシー (13)

領 収 書

No. _____

令和
平成

4年 1月19日

久慈市市議会 政風会 様

金額	¥	2	7	1	0	2	5
----	---	---	---	---	---	---	---

但し タクシー代・バス代・チケット代・他

(放棄代)



上記、正に領収致しました

係 印

株式会社 三河交通観光

代表取締役 三河 博之

久慈市中央2丁目13番地

☎ 0194-53-6161 FAX 0194-53-6163



内 訳

現金	✓
小切手	
振込	

領 収 証

No. 0020819

2022年 1月12日

海風舎様

¥ 78,500 円 (消費税等10%適用)

但し、バス運賃

として、上記正に領収いたしました。 1/12 焼-ニ

ジェイアールバス東北株式会社 1570x52

登録番号 T9370001008360



= 7850

担当 名

※金額を訂正したもの及び担当者印のないものは無効

①

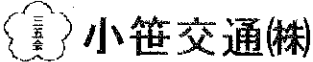
(5)

領 収 書
No. 0917

日付 '22年01月13日 /
車番 000533 000
メータ運賃 ¥690円
合計 ¥690円 /

上記の通り領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。



福岡市中央区平和5丁目2-2
TEL 092-531-1461

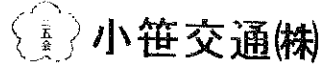
本日のご乗車誠にありがとうございます。
またのご乗車をお待ちしております。

領 収 書
No. 1223

日付 '22年01月13日 /
車番 000547 000
メータ運賃 ¥750円
合計 ¥750円 /

上記の通り領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。



福岡市中央区平和5丁目2-2
TEL 092-531-1461

本日のご乗車誠にありがとうございます。
またのご乗車をお待ちしております。

領 収 書 No.151121

政会 様

ご利用金額 ¥16,910- (現金利用)
上記の金額を領収しました。

購入商品 JR乗車券類
年月日 2022年 1月13日 /

鳥飼 長山

九州旅客鉄道株式会社
鳥栖駅 POS001 発行

(7)

領 収 証

政風会 様

2022年 1月14日

金219,800円 (1/2)

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
二五三〇一 No.000012



令和4年1月12日

予定した航空機が欠航となったため、長崎駅までの移動を新幹線に変更した。

区間：盛岡駅～長崎駅

料金内訳

219,800円 ÷ 7名 = 31,400円/人

政風会	31,400円 × 5名 = 157,000円 (3)
日本共産党 久慈市議団	31,400円 × 2名 = 62,800円

領収書

政風会・日本共産党久慈市議団様

ご利用日付 2022年1月13日
 時刻 14時00分
 券番号: 2132
 取引内容: 乗車券類 金570円

瀬高→鳥栖

伝票番号: 32239

●ご利用ありがとうございます。

570×1 瀬高駅 券181発行
九州旅客鉄道株式会社

領収書

政風会・日本共産党久慈市議団様

ご利用日付 2022年1月13日
 時刻 14時01分
 券番号: 2135
 取引内容: 乗車券類 金1710円

瀬高→鳥栖

伝票番号: 32240

●ご利用ありがとうございます。

570×3 瀬高駅 券181発行
九州旅客鉄道株式会社

領収書

政風会・日本共産党久慈市議団様

ご利用日付 2022年1月13日
 時刻 14時02分
 券番号: 2138
 取引内容: 乗車券類 金1710円

瀬高→鳥栖

伝票番号: 32241

●ご利用ありがとうございます。

570×3 瀬高駅 券181発行
九州旅客鉄道株式会社

⑥

令和4年1月13日

区間：瀬高駅～鳥栖駅

料金内訳

$3,990 \text{ 円} \div 7 \text{ 名} = 570 \text{ 円/人}$

政風会	$570 \text{ 円} \times 5 \text{ 名} = 2,850 \text{ 円}$
日本共産党 久慈市議団	$570 \text{ 円} \times 2 \text{ 名} = 1,140 \text{ 円}$

領収書

下記の運賃を受領いたしました。

R3年 / 月 / 日
¥ 1,630 -

長崎県営バス
大村 営業所長

領収書

下記の運賃を受領いたしました。

R3年 / 月 / 日
¥ 1,630 -

長崎県営バス
大村 営業所長

領収書

下記の運賃を受領いたしました。

R3年 / 月 / 日
¥ 1,630 -

長崎県営バス
大村 営業所長

令和4年1月14日

区間：長崎駅～大村市ミライ on

料金内訳

1,630円 ÷ 2名 = 815円/人

政風会

815円 × 5名 = 4,075円

9

領収証

利用年月日 2022年01月14日

取引内容 乗車券発売
ご利用金額 660円

1人

・毎度ありがとうございます。
・この領収証は大切に保存してください。

羽田 - 東京

発売駅名 羽田空港第2
号機番 券A03
伝票番号 2152
東京モノレール株式会社

領収証

利用年月日 2022年01月14日

取引内容 乗車券発売
ご利用金額 1980円

3人

・毎度ありがとうございます。
・この領収証は大切に保存してください。

羽田 - 東京

発売駅名 羽田空港第2
号機番 券A03
伝票番号 2150
東京モノレール株式会社

領収証

利用年月日 2022年01月14日

取引内容 乗車券発売
ご利用金額 1980円

3人

・毎度ありがとうございます。
・この領収証は大切に保存してください。

羽田 - 東京

発売駅名 羽田空港第2
号機番 券A03
伝票番号 2151
東京モノレール株式会社

令和4年1月14日
区間：羽田～東京
料金内訳

4,620円 ÷ 7名 = 660円/人

政風会	660円 × 5名 = 3,300円
日本共産党 久慈市議団	660円 × 2名 = 1,320円

11